

## 2020年度 事業報告

2020年度は、昨年度後半に起こったコロナ禍の影響が続き、舞鶴国際交流協会にとっても非常に厳しい年度となりました。先ずはそんな状況の中、当協会の趣旨にご賛同いただき暖かいサポートを続けて頂いた会員の皆様に感謝申し上げます。また期初に当協会の窮地を救うべく寄付をお願いした所、多くの皆様方より多額の寄付を頂きました事、心よりお礼申し上げます。お陰様で、会員・非会員併せて57名の有志の方々より、総額163万7千円の寄付が集まりました事、改めてご報告致します。

会員数に関しては、転勤・引越し等により数名の退会がありました。新たに16名の方が入会され、2021年3月31日現在にて、個人会員78名・団体会員4団体・家族会員5名、前年度比では総勢で10名の増加となりました。

2020年度は事業計画に掲げましたように経営リスク分散の考え方に基つき、「自主事業を更に充実させ自主財源を拡充」する事を喫緊の課題とし、理事を中心に各部会と共に鋭意取り組んで来ました。

自主事業の柱となる語学教室は、英語2コースのうちの一つを「GoSpeak English」と模様替えし外国人講師による英会話講座をスタートさせました。また新たに外国人講師による「ロシア語講座」、「初めての中国語会話」という新規講座も開講し、舞鶴市と友好関係にある中国、イギリス、ロシアの3か国の言語を学ぶ場を提供する事が出来ました。受講者数も順調に増え、ご協力頂いた会員の方々に改めて感謝致します。来期はこれらに加えて「初めての韓国語」講座も開講の準備を進めています。

各部会も積極的に催しを企画/展開しました。折からのコロナ禍への対策上、実施諸条件に制約がかかったものの、可能な範囲で工夫をこらし事業を展開しました。この経験は2021年度以降の活動に生かされることと確信しています。コロナ禍に翻弄された2020年度でしたが、その大きな制約の中で育てた「新たな事業の芽」を2021年度以降、大事に大きく育てて行きたいと思えます。

MIA事業のもう一本の柱である受託事業は6事業(詳細別記参照)を予定していましたが、世界的なコロナ感染症拡大の影響を受け、日本国内で展開可能な、「多文化共生社会推進事業」と「中国残留邦人に対する支援」、この2事業のみが実施されました。

「多文化共生社会推進事業」は、文化庁の助成事業として2018年からの3年計画最終年を迎えました。2020年度は「MIAにほんご教室」「日本語支援ボランティア養成講座」「スキルアップ講座」「講演会」等を実施し、受講生・ボランティアとも着実に増えてきました。また「中国残留邦人に対する支援」は2名の在舞残留邦人の支援を実施し、定期訪問/生活相談及び病院での通訳等を実施しました。

財務状況は、2019年度同様コロナ禍により、受託事業での収入と利益の確保が出来ませんでした。自主事業の強化、有志の方々による寄付金(163万7千円)及び経済産業省の持続化給付金受給(200万円)により当初予算を大幅に上回り、当期2020年度の最終収支は2,704,832円(予算比360万円増)の黒字となり、2021年度への繰越金は3,813,093円となりました。

管理費は、当初2件見込んでいたリース契約変更(期間延長)を、中間期の財務状況に鑑みうち1件は据置とした為、予算比12万円の増加となりました。一方労務費に関しては、コロナ感染症対応緊急事態宣言下の業務量減少に対応し、宣言期間中の事務局職員の業務時間を短縮し経費節減する事が出来ました。。

## 2020年度実施事業(2020年4月1日～2021年3月31日)

主務部会	事業名	事業内容	実施期間	実施状況	
受託事業	大連市少年使節団受入事業	舞鶴市と大連市は、少年使節団の相互派遣(隔年)を通じて、次代を担う両市青少年の交流を促進している。本年は大連市少年使節団を舞鶴市に受け入れ、各種交流事業を実施する。	未実施	コロナ禍により中止	
	舞鶴市青少年文化交流訪問団ナホトカ市派遣事業	舞鶴市青少年文化交流団をナホトカ市に派遣。文化の理解促進を図ると共に、舞鶴市の児童の国際理解を促進し、将来の両市の友好を担う国際感覚豊かな人材の育成を図る。	未実施	コロナ禍により中止	
	舞鶴市青少年交流訪問団浦項市派遣事業	舞鶴市の小・中学生少年使節団を浦項市に派遣。文化の理解促進を図ると共に、舞鶴市の児童の国際理解を促進し、将来の両市の友好を担う国際感覚豊かな人材の育成を図る。	未実施	コロナ禍により中止	
	ポーツマス市訪問青少年英語研修事業	舞鶴市内中・高生を英国での英語研修に派遣。ホームステイ経験によって、英語力の向上と共に、国際的視野を持った若い世代の育成を図る。	未実施	コロナ禍により中止	
	多文化共生社会推進事業	舞鶴在住外国人への日本語学習支援(文化庁プログラム最終年-3年目)と交流により多文化共生社会形成推進に尽力する。	通年	・ボランティア養成講座:5回 ・にほんご教室:年間31回 ・スキルアップ講座:年間6回 ・日星高校、福知山大学からの見学・交流	
	中国残留邦人に対する支援	舞鶴在住の中国残留邦人への中国語による生活相談・支援。家庭での市職員との会話や病院での医師との同時通訳を行う。	通年	定期的に訪問し、生活に関する相談、家庭や病院での通訳等に当たる。	
主務部会	事業名	事業内容	実施期間	実施状況	
自主事業	事務局	英会話教室	「水・英会話教室」⇒GoSpeak Englishと模替え。10月より外国人講師による英会話講座をスタート。	通年	GoSpeak English(水)生徒13名 初級英会話教室(金)生徒9名
		初めての中国語会話	2021年1月より、中国/大連出身の講師による会話力重視の講座をスタート。	通年	毎木曜日19:00-20:30 生徒数 8名
		ロシア語講座	2020年10月より、舞鶴市国際交流員(外国人)を講師に迎え、新規講座をスタートする。	通年	毎火曜日19:00-20:30 生徒12名
		通訳・翻訳	5カ国語(英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語)による通訳・翻訳業務を提供。	通年	スペイン語通訳(高浜町)/英語医療通訳(飯野港運)/中国語翻訳(ユネスコ)/赤れんがパンフ英中韓翻訳チェック(舞鶴市)/英語看板案内文(アオパデザイン)
	文化交流部会	着物着付けの集い	外国の方には、着物の着付けを通して日本文化について体験してもらい、日本人にはこの取り組みを通して英会話、日本語会話を学ぶ機会とする。	7月	外国人3名を含む総勢9名で実施、浴衣の着方を学び日本文化を楽しむ。
		英語で落語	日本の伝統文化である落語に親しみながら、外国の方と市民との交流を図り、この取り組みを通して英語及び日本語による交流を深める。	9月	10名(内3名、外国人)参加。落語の説明後、参加者全員が漫才形式による小断の発表を行い、落語を楽しむ。
		生け花の集い	日本の伝統文化である生け花に親しみながら、参加者の交流を図り、この取り組みを通して英語及び日本語の会話力の向上を図る。	10月	11名(内4名、外国人)参加。生け花について説明後、参加者が自由に生けて、鑑賞会を楽しむ。
		茶の湯の集い	茶の湯の体験を通して日本文化を楽しむとともに、英語及び日本語の向上を図る。	11月	15名(内4名、外国人)参加。茶の湯について説明後、生菓子とお抹茶をいただき茶の湯を楽しむ。
		舞鶴の里山でドライリース作りと地産地消の集い	舞鶴市の里山で自生する草花をリースにして楽しむとともに、地元産の食材で作られた料理を味わい、里山の豊かな自然を体感する機会とする。	12月	10名(内3名、外国人)参加。里山の草花を使いリース作りを体験、昼食のすいとん定食を味わい、里山の幸を満喫。
	サフンドリ部会	イングリッシュカフェ in ハロウィン	参加者全員が仮装をし、ネイティブと英語でおしゃべりを楽しみ、母国のイベントについて説明/会話をし、最後にグループ毎にそれぞれその内容を発表する。	11月	ネイティブ5人を含む総勢26名でコーヒーとケーキを食べながら楽しい時間を過ごす。
多文化共生部会	在舞外国人生活相談・支援	在舞鶴外国人の生活相談や支援	通年	「にほんご教室」を通して、受講者の生活相談に応じた。	
	「やさしい日本語」講座	京都府国際センターとの共催により、外国人を受け入れる側としての日本人の多文化共生社会への理解を深める。	11月	・講座:4回 ・参加者:33名	